

第二號

大連威海衛偵察報告

明治廿七年十一月十日

常備艦隊司令官 坪井航三

聯合艦隊司令長官 伊東 祐亨 殿

昨日吉野高千穂ヲ率ヒテ大連湾ヲ遊ビ其午後旅順口ヲ偵
 察シ而シテ今日朝威海衛ヲ偵察シテ後帰航スルニテ海口連
 日承テ先ヨリ旅順口ニ到達時ヨリ弄ヒ昨日正午十二時三十分吉野
 高千穂ニ被錨セリテ目的地ニ向ルニ
 午後四時旅順口外ニ達ス其内外共ニ航船ヲ見ス全時過ル
 赫湾上一汽船中其方ニ向ヒ航行スルヲ遠見シテ之ヲ追フ
 然レ既ニ没スル時トナリ尚ホ遠隔セリ以テ之ヲ其方方向ヲ轉シテ威
 海衛ニ行ク途ニ就カ云午後七時三十分高千穂棧閣ニ故障アリテ

0687

停止ス依テ吉野ヲシテ近傍ニ在ラシムル時右舷閘修理整

ヒタル以テ進航ス

午後八時四十五分高千穂ヨリ信野ト高千穂ノバイドリックニ故障アリ

修理ノ為メエンジン二時間停止ヲ要ス如何スルモ其故障

程如何ノ向ヒトモ大砲船用ヲ為リスル答ヘリ千時西凡波濤

アリ若シ二時間停止ニテモ修理充テラセシ場合ハモ大

連博ニ帰航セシム

本日午前六時一汽船北西ニ航スル見ル

午前七時威海衛沖ニ達シ港内只康濟ヲ見ル

午前七時四十五分ヲ持積ルル要商船一隻北西ニ航進スル

午前八時十五分帰途ニ就カシム

午後五時大連湾着

右舷艦長ヲ捜出シ偵察報告相添及報告也

0688

旅順口及威海衛偵察報告

十月十日午後四時三十分旅順口及威海衛偵察、為之、
停、高千穂、共、出帆、湾口西側、布設水雷、避、西口、出、
速力、十里乃至十里半、針路、南、西、南、定、午後四時、旅順
口、金山、南、七里、港内、偵、敵、船、視、時、西、方、三
商、船、北、老、依、市、停、針路、轉、速力、增加、追
尾、衝、進、老、鐵山、炮台、廻、彼、商、船、相、距、十二、三、里、
、日、既、夜、八、時、停、速力、漸、減、五、里、半、減、午後九時
、針路、南、東、南、定、威海衛、向、本、船、老、鐵山
燈台、接近、海軍、國旗、降下、礼、為、本、船、之、答
礼、行、午後七時三十分、高千穂、機、故障、暫、時、回、後
、午後九時三十分、平水、歷、機、故障、為、去、連、房、停、了
、十月十日午後四時五十分、漸、威海衛、附近、山、出、認、得、午前六

0689

時十分速力ヲ七里半ト為ス此時水船北東ニ向テ一商船北
 西方ニ航スルヲ認メ本前六時十分咸海衛東口ニ至キ速力十里ヲ
 以テ港口諸砲台ヲ五里乃至六里ノ距離ニ港内ニ偵察スル前七
 時三十分一商船ヲ東方ニ根依テ速力ヲ增加スルニ接近スル
 莫商船獲テ揚テ北西ニ航ス水船ト相遇スル時旗ヲ降下シ敵
 札ヲ行テ時北風降吹シ波濤穩ニナリ以テ之ヲ臨接セキ午
 前八時五十分再々咸海衛東口偵テ敵艦船ヲ認メ依テ午
 八時十分至キ依リ劉公嶋頂東北東八里ヲ速力十里針路ヲ
 北微西ニ西ニ是ニ至リ帰途ニ就ケリ
 右報告仕候也

明徳廿七年十一月三日

吉野船長 海軍大佐 河原 要一

水雷隊司令官 海軍少佐 坪井 航三 殿

0690

旅順口威海衛艦船看察報告

本官等旅順口威海衛港内艦船有與看察之申き之其後
事未其結果有知之

旅順口

上月廿日午右三時五分捕撈之六船津浦此角在昔昔山腹
子数何夫果不之望より港内之艦船隻数より北洋軍
近傍之艦船数多之支那形帆船之認ハルルニシテ
上総輝村之信号旗之翻ハルルニシテ又老鐵山
夏張所之設ケルモノ如ク旗竿之赤色ノ方旗
之中央ノ白色ノ

威海衛

上月廿日午右三時五分捕撈之六船津浦此角在昔昔山腹
子数何夫果不之望より港内之艦船隻数より北洋軍
近傍之艦船数多之支那形帆船之認ハルルニシテ
上総輝村之信号旗之翻ハルルニシテ又老鐵山
夏張所之設ケルモノ如ク旗竿之赤色ノ方旗
之中央ノ白色ノ

0691

号... 上下... 視... 船... 隻... 午前... 午後... 櫓... 降...
右... 其... 也

明治廿七年三月五日

音野飛天海中大信河原要一

海軍少尉 野村 勉
海軍少尉 山口 鏡
海軍少尉 木山 信吉

0692